

「相手（採点官）に伝わる答案」へ向けて気をつける観点

観点	判断
1. イディオムを見逃していないこと（特にやさしい単語から成るものの場合）。	OK
2. 和訳が不自然な日本語でないこと。英文の構造を理解していることが伝わるように訳せていること。	OK
3. 英作文で主語の一貫性、動詞の3単元、時制の統一などへの配慮ができていること。	NG
4. 字数・語数指定を守っていること。答案の語数の数え間違いがないこと。	OK
5. 文字を丁寧に、はっきり書くこと。特に文末が判読不能にならないよう、句読点までしっかり書くこと。	NG

※上記は提出していただいたあなたの答案から判断しています

自由英作文については、文章の論理展開を意識し接続詞に気をつけてライティングしましょう。第2問Aでは<but>や<and>、あるいは<moreover>などの接続詞が欠落していました。またBでは記述すべきポイントにずれがありました。要点を外してしまうと大きく減点されてしまいますから要注意です。

英作文で1文ごとはきちんと訳せていても意外にひっかかるのが、主語の一貫性や動詞の3単元、時制の統一などです。一般人称のweで始めているのに途中からyouで受けたり、3人称単数なのに動詞にsをつけなかったり、全体を現在形で書いているのに急に過去形にしたりしないように、文章全体を読み返して確認する習慣を身につけましょう。

今回返却された答案をもう一度復習してみてください。そうすることで本番では合格にもう一歩近づきます。また12月はセンター試験対策も重要になってきますから、東大英語以上に素早く・正確に解答することを意識して勉強に取り組んでくださいね。